

ラッドフォード校はとても広く大変恵まれた環境にあると思いました。

幼稚園から高校まで1つの大きなエリアの中にあるので、最初は授業クラスを覚えるのにも大変でした。生徒も素直ない子が多く、どの生徒も裕福な家庭の子という印象がとてもつよいです。



授業は思ったよりもマニュアル化されていて、文法や聞き取りなどしっかりやります。時々教科書も先生も日本語が変ですが、もうそれで教えているので、アドバイスしてもなかなか難しい時もあります。生徒の前で先生の間違いを直すのはいけないのですが、間違った日本語を教えているのにそれをその場で直せないのは歯がゆいものがあります。



先生の中には難しい先生もいて、雑務ばかり押し付けてきたり、生徒の前でも嫌みを言うてきたりするいじわるな先生もいて大変です。アシスタントの範囲を超えたかなりの量の仕事を与えてきたりもして、他の先生に相談して、それはおかしいという事になり、職員室を移動したりして、今は前よりましになりました。その先生は他の先生たちからも嫌がられていて、あまり気にしないように言われています。その先生は男性自体が嫌いらしく、このタイプの間は初めてだったので、とてもいい勉強になっています。ダイアン先生がとてもいい先生でいつも

助けてくれるので本当に助かっています。

日本語以外の授業では時々音楽の授業に参加したり放課後のクラブにもいくつか参加しています。最近まで日本から短期で高校生たちが来ていて、全校集会で日本の合唱曲と一緒に歌いました。学校の行事や生徒たちの発表の場にはできるだけ参加しています。

ホストファミリーも今は4件目ほどの家庭の人たちもとてもいい人で、移動した後でも仲が良いファミリーは、今でもたまに遊びに行ってお飯を一緒に食べたりしています。



なかなか思ったほど英語が上達していないので、忙しいなかでも少しずつ継続して勉強していこうと思います。生徒たちの英語が少しずつわかってきているので会話も前よりは続くようになってきました。



毎週金曜日の Recess で先生たちが最近のおもしろいストーリーを言い合って、

一番おもしろかった人にワインがもらえるというジョークコンテストみたいなのがあります。そこで前のタームの最後の時、他の先生たちにも手伝ってもらって英文を作り、一人でスピーチをしてワインを勝ち取りました！

かなりウケたので本当に気分が良かったです。語学の先生たちのなかでは、

ワインをもらったことが今までになかったみたいで、あとで先生たちとももらったワインで乾杯しました！！

ダイアン先生は本当に自分が挑戦したいことにいつも協力してくれて、今までに1回一人で日本語の授業をしたり、音楽の授業と一緒に手伝ってくれながら日本の音楽の授業をやってみたりしました。もちろん大変なことはたくさんありますが、貴重なすばらしい体験となっているので、本当にラッドフォードに来て良かったと思っています！！

